

利根川水系江戸川洪水浸水想定区域図（浸水到達時間）

決壊直後

3時間後

24時間後

- 凡 例
浸水到達時間
- 堤防の決壊前
 - 0分～30分未満
 - 30分～1時間未満
 - 1時間～2時間未満
 - 2時間～3時間未満
 - 3時間～6時間未満
 - 6時間～12時間未満
 - 12時間～24時間未満
 - 24時間～48時間未満

利根川水系江戸川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）

- 凡 例
浸水継続時間
- 12時間
 - 24時間(1日間)
 - 72時間(3日間)
 - 168時間(1週間)

市川市

浦安市

浸水が長期にわたると想定される地域においては、立退き避難せず自宅の2階等に待避した場合、以下の問題点が考えられますので適切に避難判断をしましょう。

- ①浸水継続時間が長期化した場合の問題**
 - ・浸水深が深い場合には、家から外へ出られない
 - ・備蓄している水や食料等がなくなる
 - ・衛生環境が悪化する
 - ・病人が出た場合に対応が難しい
 - ・定期的な診療をうけている人は診療を受けられない 等
- ②電気、ガス、水道が止まることによる一般の問題**
 - ・停電等により情報を得ることができなくなる
 - ・生活環境が悪化する
- ③高層階での課題**
 - ・エレベータが止まり、階段での移動を余儀なくされることから、高層階特有の問題が発生する
 - ・低層階からの水・食料等の救援物資が調達しにくくなる
 - ・病人が出たとき、階段での移動は困難を極める 等
- ④孤立した場合の問題**
 - ・体調を崩した場合の対応が難しい
 - ・情報を得られない場合、不安になる

江戸川の堤防が決壊したときの浸水区域の予測

- 堤防が決壊してから、約13時間で浸水区域が浦安市に達すると想定されます
- 概ね44時間後に浸水が最大になります
- 市内で、最大2.8mの浸水が予想されます
- 168時間(1週間)の凡例の内、浦安市では4日間程度浸水している可能性があります

平常時の心得

① 避難行動を検討しておく

このハザードマップを使って、マイ・タイムライン(自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的にまとめたもの)を作るなど、自分が住んでいる地域からの避難行動について確認しておきましょう。特に自宅での安全確保が可能な場合、「在宅避難」するなど、感染リスクを負ってまで避難所等に行く必要はありません。



② ご高齢の方には気配りを

自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に、一人暮らしのご高齢の方など要配慮者には、日頃からの気配りがが必要です。



③ 地域内で協力体制を構築しておく

災害時に指定避難所の開設・運営を迅速かつ効果的に進めるように、自治会自主防災組織が主体となって避難訓練等を実施していますので、それに参加しましょう。市は、訓練や地域での活動を支援します。



避難情報

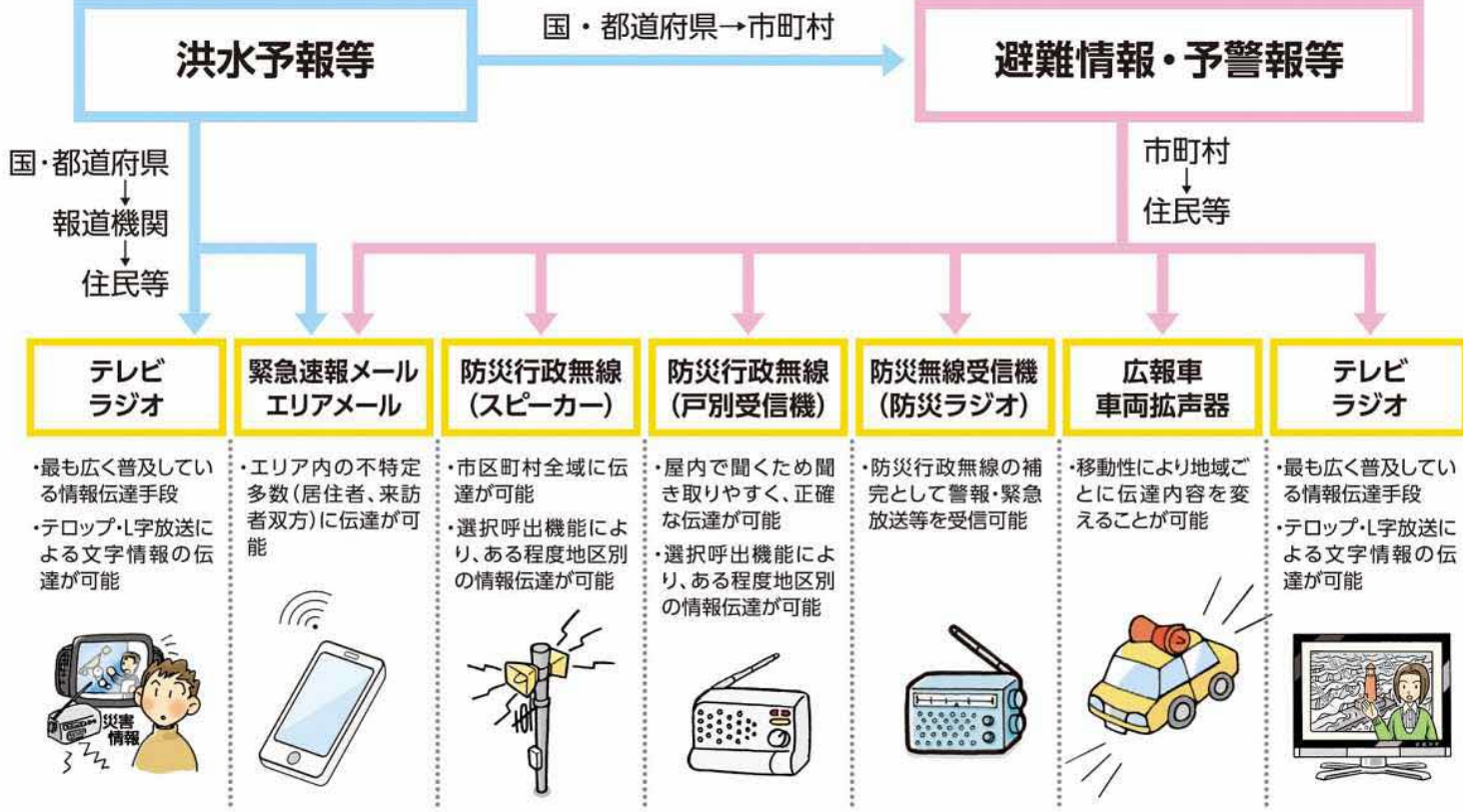
災害による被害が拡大するおそれがあり、住民への危険が迫った時には、状況に応じて気象庁や市災害対策本部から以下の避難情報が発表・発令されます。避難情報が発令された場合は速やかに行動しましょう。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5	警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 警戒レベル5緊急安全確保 の発令を待ってはけません！ 命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 市町村が災害の状況や避難の状況に応じて、避難所の開設・運営を迅速かつ効果的に進めるように、自治会自主防災組織が主体となって避難訓練等を実施していますので、それに参加しましょう。市は、訓練や地域での活動を支援します。
警戒レベル 4	避難勧告は廃止されています。 これからは、 警戒レベル4避難指示 で危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示 避難指示は、これまでの避難勧告の代替として、避難の必要がなくなった場合に発令されます。 (市が発令)
警戒レベル 3	避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、 警戒レベル3高齢者等避難 で危険な場所から避難しましょう。	高齢者等避難 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて自分の行動を助けてもらう必要があり、避難の必要がなくなった場合に発令されます。 (市が発令)
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

○各情報の内容は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

情報伝達の経路

状況に応じて、気象情報(大雨・洪水などの注意報・警報)と避難情報(避難指示等)は、下図のように市民の皆さんに伝えられます。



情報収集先

● 防災行政無線フリーダイヤル
0120-431-067

24時間以内に放送された防災行政無線の内容を確認できます。

● 災害コールセンター
0120-723-242

災害発生後、災害の状況、避難情報などを提供いたします。
※災害時、必要に応じて適用します。

● 重要なお知らせメールサービス

市では、火災や防犯、防災などの情報をあらかじめ登録した携帯電話、PHS(フルブラウザ搭載機種のみ)にメールでお知らせする「浦安市の重要なお知らせメールサービス」を行っています。

事前の登録が必要です
登録はこちら ▶▶▶

緊急情報のほか、防災情報などは下記から入手可能です。
日頃より情報の入手手段を確認しておきましょう。

気象庁(防災情報のページ)

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menulash.html>

① 気象注意報・警報・台風情報・高潮警報・高潮警報等

国土交通省 川の防災情報(浦安市のページ)

<https://www.river.go.jp/kawabou/pGaiyoMap.do?areaCd=03&prefCd=1201&comCd=1201227&gameId=01-0701&idCd=Party-no>

① 利川の水位と雨量の状況

地上デジタル放送(dボタン)

① 地域性の高い情報

浦安市内水ハザードマップ

水 害 予 測 図

浦安市は、過去において台風による高潮などにより、幾度も水害に見舞われてきました。そのため、これまで堤防や排水機場の建設など、様々な水害対策を進めてきたところです。
近年、局地的な激しい豪雨(いわゆるゲリラ豪雨)など、下水の排水能力を上回る降雨により、都市型水害といわれるような内水の氾濫が各地で発生しています。
この地図は、平成12年9月に名古屋地方気象台(愛知県東海市)で観測された集中豪雨(1時間最大雨量114mm)が浦安市で生じた場合を想定して、下水道雨水管から水があふれた場合の浸水予想結果をもとに、浸水する範囲とその程度や待避所を示し、待避が必要な場合などに役立つように作成したものです。
また、大雨が降ると、常にこの地図のような浸水があるというものではありませんが、十分注意してください。
住民が自己の判断で早期に待避できる待避所(1次開設)と市の避難情報により、立ち退き避難を行う方が一時的に待避できる待避所(2次開設)を示していますので、いざというときに備え、日頃から待避所の確認をしておきましょう。

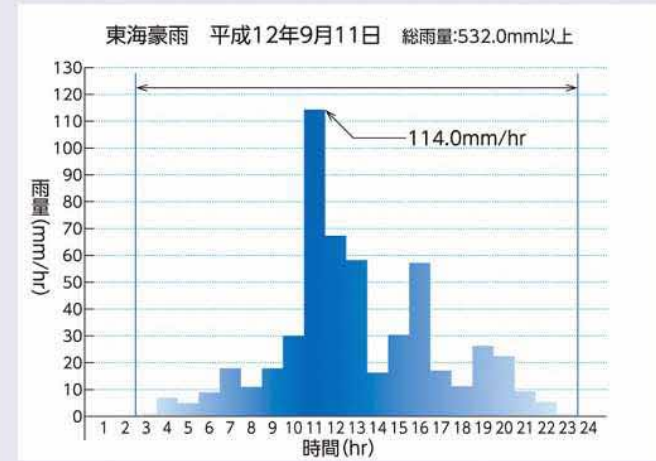
令和 4 年 7 月 浦 安 市

PREDICTED FLOOD DISASTER MAP

Urayasu City has been hit many times in the past by flood disaster, for example, by high tide resulting from typhoon. When severe thunderstorms occur, the amount of rain exceeds the drainage capability of sewer. The water in a sewer then floods. Numerous flood control measures have been carried forward in order to solve this problem, such as constructions of embankment and drainage works.

This map shows predicted disaster areas and their extent when flood occurs. The emergency shelter areas are also shown here. The map is useful at times when refuge is required. In September 2000, The Nagoya Local Meteorological Observatory (Tokai City, Aichi) has conducted an observation of severe rain where the maximum rainfall was 114 mm per hour. The map reflects the situation when this condition supposedly occurs in Urayasu, when water overflows from a sewer drainage pipe.

It does not necessarily mean that flood disaster occurs whenever there is severe rain. In case of heavy rain the citizens may take refuge in the shelter of nearby school or facility(step 1),but if there is danger of flood disaster the city will announce temporary evacuation(step 2). The depth of flood may differ as well. However, let us prepare for emergency and check the shelter areas at all times. In addition, when such emergency arises, please follow the directions of the city.



1 : 23, 000

0 100 500 1000 1500m



水害予測図の見方

Predicted Water Depth of Flood Disaster

- 浸水深が20cm未満の区域
- 浸水深が20～50cm未満の区域
- 浸水深が50cm～1m未満の区域
- 浸水深が1m～2m未満の区域
- 待避所
Temporary Retreat Center
- ペット専用待避所
Pet-Friendly Retreat Center
- 医療拠点施設(診療所)
Medical Relief Stations
- 指定緊急避難場所
Designated Emergency Evacuation Sites
- 要配慮者利用施設
Facility for the Aged,the Disabled,and the Infant